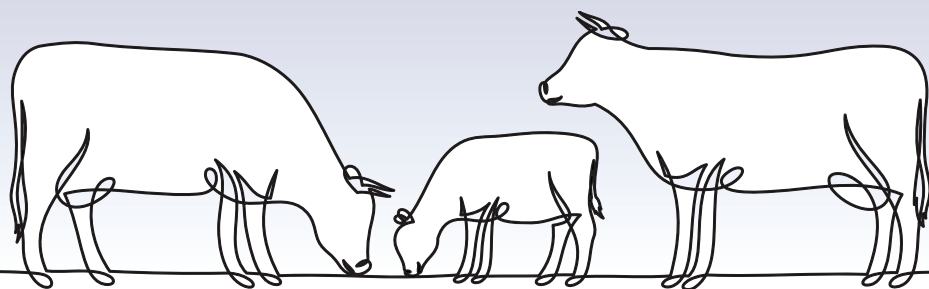


A 飼料

混合飼料 ヘパスリー

HEPATHREE



3つの力が家畜の
生産性をサポート

マリアアザミ抽出物
(シリマリン)



マリアアザミは、2000年以上前からヨーロッパを中心に使用されています。マリアアザミに含まれる「シリマリン」は、日本で販売されている動物用の「肝臓の健康をサポートするサプリメント」で最も多く使われています※。

※リケンベッツファーマ調べ

ウコン抽出物
(水溶性クルクミン)



ウコンには、肝臓の健康をサポートする「クルクミン」が含まれています。従来のクルクミンは難溶性ですが、水溶性クルクミンは、30倍以上の吸収率があり、効率よく体内に吸収されます。

甘草末
(グリチルリチン)



甘草は東洋でも西洋でも薬用植物として用いられています。甘草はリコリスとも呼ばれ、ハーブ先進国であるドイツの公的評価委員会で承認されています。

家畜では、甘草の飼料添加による繁殖障害や免疫機能の改善に対する効果が研究されています。

製造業者



リケンベッツファーマ株式会社
埼玉県入間郡越生町成瀬829-6

〔製品情報・お問い合わせ先〕

メール: riken@r-vets.jp
電話: 03-5888-6044

【給与試験】

▶ 社内資料

供試牛

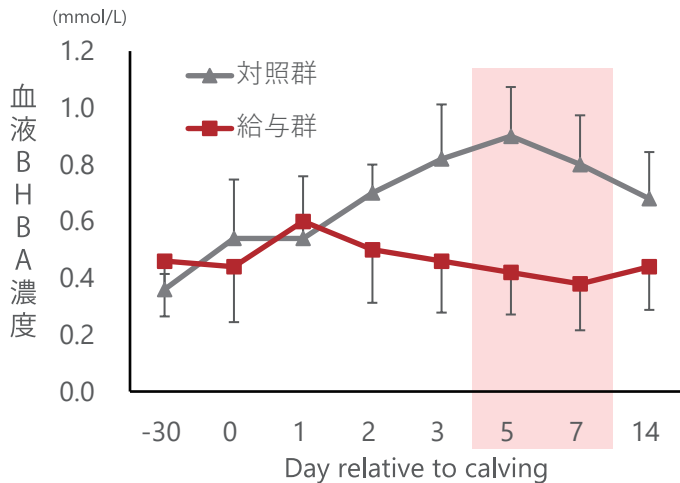
ホルスタイン種乳牛 10頭

- ▶ 給与群（5頭）——— ヘパスリー同等品（ヘパスリー50gに相当する量）を飼料に混ぜ、分娩予定日30日前から分娩後7日目まで連続給与
- ▶ 対照群（5頭）——— 飼料のみ

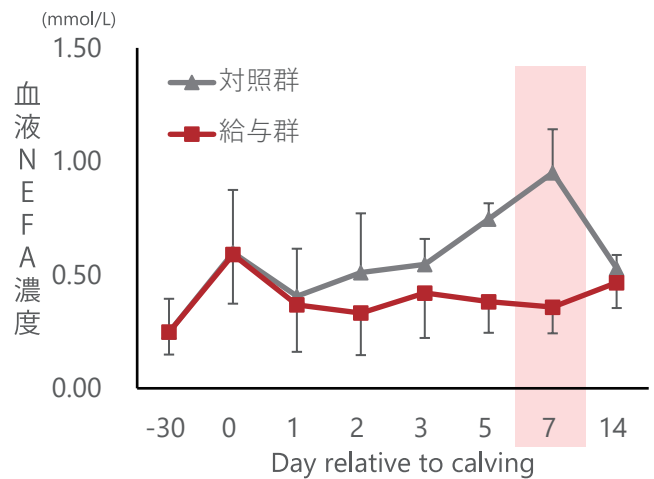
検査項目

血液生化学検査（BHBA, NEFA, AST）

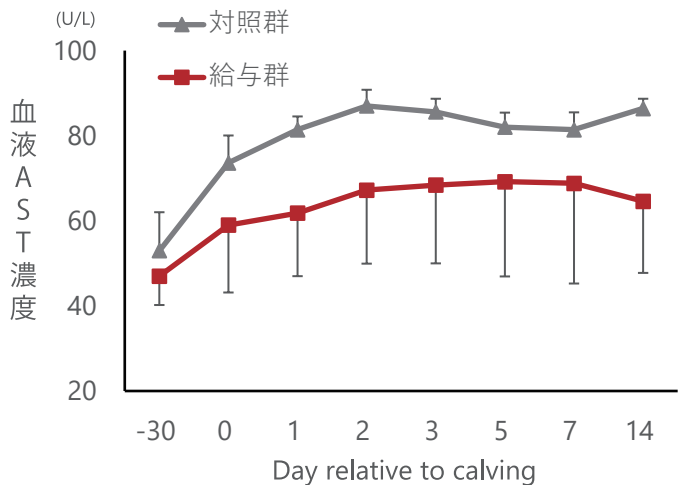
各群における血液BHBA濃度の推移



各群における血液NEFA濃度の推移



各群における血液AST濃度の推移



結果

BHBA・NEFAの値は、対照群と比較し、**BHBAは分娩後5日目、NEFAは分娩後7日目に給与群で有意に低下した**。ASTの値は、有意差は認められなかったものの給与群では低値で推移する傾向が認められた。



A 飼料 混合飼料 ヘパスリー

HEPATHREE

【飼料の種類】

マリアアザミ抽出物（シリマリン）、ウコン抽出物（水溶性クルクミン）、甘草末（グリチルリチン）入り混合飼料

【含有する飼料添加物の名称】

ゼオライト、天然ケイ酸アルミニウム、着香料

【原材料名】マリアアザミ抽出物（シリマリン）、ウコン抽出物（水溶性クルクミン）、甘草末（グリチルリチン）、酵母細胞壁

【対象動物】牛・豚・鶏

下記の量を目安に適宜増減してください
＜目安＞

乳牛：1日1頭あたり30～50g

肉牛：1日1頭あたり10～30g

子牛：1日1頭あたり5～10g

豚：飼料1tあたり1kg

鶏：飼料1tあたり1kg